

# 図書館だより

## 第35号

八千代市立大和田図書館 482 - 3240  
八千代台図書館 482 - 0912  
勝田台図書館 484 - 4946  
緑が丘図書館 489 - 4946  
<http://www.library.yachiyo.chiba.jp>

### 中央図書館・市民ギャラリー整備事業基本設計ができました。

中央図書館・市民ギャラリー整備事業基本設計ができました。  
中央図書館と市民ギャラリーの複合施設としての利便性を活かし、市民の学習活動を支援し、文化芸術に親しめる施設です。

市民の生涯学習の拠点として、自然豊かな新川沿いに立地し、利用者にとって使いやすいワンフロア建築と自然エネルギーの活用、免震構造、ユニバーサルデザインも考慮した環境や安全性などへの配慮を施した設計となっております。

開架スペースには、約17万冊を、蔵書可能冊数として、約46万冊を予定しています。

当該施設のコンセプトは、「学び・憩い・集い・情報の場」であり、滞在型の施設としていますので、中央図書館では、市民が豊富な資料や情報の中で過ごせるように、読書・学習スペースとして、約400席設置する予定です。

詳細につきましては八千代市ホームページおよび図書館ホームページからご覧いただくことができます。

アドレス <http://www.library.yachiyo.chiba.jp/>

(ますます便利になります)

～ハッピーマンデーの開館を始めました～

今年度より月曜日が祝日の場合は開館することになりました。  
その場合の休館日はその日に最も近い平日となります。  
開館時間は午前9時から午後5時までです。

#### 平成24年度月曜開館予定(7月以降)

開館日		休館日
7月16日(月)	→	7月17日(火)
9月17日(月)	→	9月18日(火)
10月8日(月)	→	10月9日(火)
12月24日(月)	→	12月25日(火)
1月14日(月)	→	1月15日(火)
2月11日(月)	→	2月12日(火)



(八千代市立中央図書館・市民ギャラリー外観)

(0歳から始まる読書)

～子どもが育つ 読書の世界から～

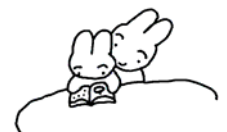
「八千代市子ども読書推進計画」

「八千代市子ども読書活動推進計画」が平成24年3月に策定されました。この計画は八千代市の未来を担う子どもたちが、読書を通じて豊かな人間性を備え、成長することを願って、家庭・地域・図書館・学校が連携することにより、子どもたちに様々な読書の機会を提供し、読書活動を支えるための環境整備を目指して策定されたものです。

この計画に基づき図書館では、魅力ある蔵書の充実を図り、おはなし会やイベントの開催や、保育園や学校等への団体貸出を通じて、子どもが本に親しむ機会の提供に努めていきます。そして子どもの読書活動についての理解を深めるために、大人を対象に絵本の読み聞かせ講座や子どもの読書に関する講演会を開催していきます。

また、新設事業として「ブックスタート事業」が始まります。ブックスタートは、赤ちゃんと保護者が絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動です。

各図書館では、はじめて出会う絵本コーナー、子育てコーナーを設けており、乳幼児向けの絵本や育児に関する本を揃えておりますので、ぜひ、ご来館ください。



### 1. 松山真之助氏をお迎えして

「人生を変える読書術 講演会&ワークショップ」・  
「Book Book Book あなたのオススメの本を紹介してみませんか」を開催しました

3月10日(土) 緑が丘プラザで「人生を変える読書術 講演会&ワークショップ」が開催されました。講師はビジネス書などの著書をお持ちの松山真之助氏。氏は八千代市在住。朝のラッシュを避けるため始発電車で通勤し、車内で読んだ本の感想などをメールで同僚に配信したところ好評を博し、それをきっかけにビジネス書の書評メルマガ「Webook of the day」を発行するようになりました。体験から語るお話しには、なるほどと思う事がたくさんあり、人生を楽しく生きるヒントをいただいた、聞いている人を元気にしてくれる講演会でした。

後半はグループに分かれてのワークショップ。参加者がそれぞれお薦めの物や本について楽しく紹介し合いました。

4月21日(土)に再び松山氏を勝田台図書館にお迎えし、「Book Book Book あなたのオススメの本を紹介してみませんか」を開催しました。



参加者の本の紹介は楽しく、読みたくなるような雰囲気に盛り上がりました。この時に紹介された本のリストは勝田台図書館にありますので、是非ご覧ください。

第2回目の「Book Book Book あなたのオススメの本を紹介してみませんか」を予定しています。詳細が決まり次第お知らせします。ぜひご参加ください。

### わたしの一冊

『いのちの川 魚が消えた「多摩川」の復活に賭けた男』  
山崎充哲 / 著 幻冬舎 2010年

普段、川に注目をしていますか？

八千代市には新川があるので、川を身近に感じている方も多いのではないでしょうか。

本書の著者、山崎氏は川が死ぬということには二つの意味があるといます。汚染による死と、周囲の住民に見捨てられる死です。これはその両面から多摩川を守ろうとしている男性の物語です。

多摩川がきれいになっているかを確かめるため、毎年鮎を採っては食べたという話には驚かされます。活動を始めた当時の鮎は、石鮎くさく食べられたものではありませんでした。一方、きれいな水で育った鮎は美味しくなります。男性は鮎を水産資源とし、人々を多摩川に呼び戻したいとの思いから行動しました。そして川をきれいにしたらそれで終わりではない。川を生かすためには、川に注目することが必要だと気付かせてくれる一冊です。

### 2. 「作家・はらだみずき×編集兼営業・杉江由次講演会 ~ぼくはこうして小説を書く、本をつくる~」を開催しました

3月31日(土) 午前10時から緑が丘プラザで、作家はらだみずき氏と本の雑誌社の杉江由次氏をお招きし対談形式での講演会を行いました。

八千代市出身のはらだ氏。著作の中では、八千代市の光景を思わせる描写が数多く登場します。

「ホームグラウンド」や「サッカーボーイズ」などの本の制作や本が出版されるまでの様子を杉江由次氏が聞き手となって話してくださいました。

事前に多くの方から頂いていた質問にも丁寧に答えて頂き、中々知ることのできない執筆の裏側や、お二人の出会いなど興味深く話されてとても盛況な会となりました。

最新刊「サッカーの神様をさがして」(角川書店)をはじめ、著作は図書館で所蔵しておりますので、はらだみずきワールドをお楽しみ下さい。八千代市出身の作家としてこれからの作品も楽しみです。



### < 34号の八千代検定「八千代市民の歌編」のこたえ >

1. 森昌子
2. 緑が丘誕生(1997年。ちなみに前年に東葉高速鉄道が全通。)
3. 校歌(県内50校以上。元々は教師ですが、詩人や童謡作家としても活躍しました。)
4. 誇り高く

八千代市の歌は、今でも一部の曲が総合企画課にて有償で頒布しております。お問い合わせは同課まで

.....  
(編集後記)

いよいよ夏本番を迎えようとしています。行楽に里帰りに、楽しい季節ですね。そのひとときに読書はいかがですか？ぜひ図書館をご利用ください。

.....



平成24年7月  
発行：八千代市立図書館  
編集：勝田台図書館